

2026年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会 2026全日本自転車競技選手権大会トラックレース(マスターズ)

2026年7月18日(土)～20日(月・祝) 長野県・スカイロードサイクリングスタジアム松本 主催:(公財)日本自転車競技連盟

2026/7/13
2R-1

Communiqué 2R

PCP 伊藤 将史

競技情報 / Technical Information

1 競技規則

本大会には、最新の JCF 競技規則、大会特別規則が適用される。

パネルメンバー 伊藤 将史 炭竈 純一 磯田 友賀 松田 健吾

2 ヘルメットに関する注意喚起

JCF 競技規則第 11 条の規定により、原則として JCF 公認標示のあるヘルメットのみが使用できる。

タイムトライアルのみにおいて使用可能との条件付きで認定されたヘルメットを、集団スタートの競技や練習中に使用することはできない。

3 ボディナンバーの装着

下図のように装着すること。



競走競技系



タイムトライアル系

※マスターズスクラッチ種目では専用ゼッケンを使用する。ライセンスコントロール時に受け取ること。

4 競技フォーマット

(1) ケイリン (JOC カップ)

- ・ JOC カップ 男子 U17

JCF 競技規則を適用する。

1 回戦各組上位 2 名が 1/2 決勝へ、その他は敗者復活戦へ。

敗者復活戦上位 3 名が 1/2 決勝へ。

1/2 決勝各上位 3 名が 1～6 位決定戦へ、4～6 位は 7～12 位決定戦へ

(2) スプリント (JOC カップ、マスターズ)

- ・ JOC カップ 男子 U17

予選タイム上位 8 名は 1/4 決勝へ

1/4 決勝 (1 回戦制) の勝者は 1/2 決勝へ、敗者の 5～8 位決定戦行わず 200mFTT の結果により順位付けを行う。

1/2 決勝 (2 回戦制) の勝者は 1～2 位決定戦へ、敗者は 3～4 位決定戦へ

1～2 位決定戦・3～4 位決定戦は共に 2 回戦制で行う。

- ・ JOC カップ 女子 U17

予選タイム上位 2 名が 1～2 位決定戦へ。200mFTT 3 位者は 3 位とする。



KEIRIN



この事業は競輪の補助を受けて実施するものです

<https://jka-cycle.jp>

2026年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会 2026全日本自転車競技選手権大会トラックレース(マスターズ)

2026年7月18日(土)～20日(月・祝) 長野県・スカイロードサイクリングスタジアム松本 主催:(公財)日本自転車競技連盟

2026/7/10
2-2

- ・男女マスターズ
各カテゴリー予選タイム上位2名が1-2位決定戦へ、次の2名は3-4位決定戦へ
1-2位決定戦・3-4位決定戦は共に1回戦制で行う。
 - (3) 個人パーシュート(JOCカップ、マスターズ)
 - ・JOCカップ U17男子・女子
タイム上位2名が1-2位決定戦へ、次の2名が3-4位決定戦へ。
 - ・マスターズ男女
予選は行わず直接決勝とする。
 - (4) スクラッチ(マスターズ)
 - ・男子マスターズ: 10km
 - (5) ポイントレース(JOCカップ)
 - ・JOCカップ U17男子
予選10kmにて行い、各組6名が予選敗退。
決勝15kmにて行う
 - ・JOCカップ U17女子
決勝12kmにて行う
 - (6) 1km・500mタイムトライアル(JOCカップ、マスターズ)
 - ・全カテゴリー
予選は行わず直接決勝とする。
 - (7) チーム・スプリント(マスターズ)
 - ・男子マスターズ
A・Bのカテゴリー振り分けはライセンスコントロール時に申告する。
スタート順はコミュニケで発表する。
H/B両側からの発走とする。
予選は行わず直接決勝とする。
5. U17, 15におけるギア制限について
- ・推奨値を適応する。 ※競技規則集「付表3-4:ギア比推奨値・トラック種目」によるギア比制限を行う。
6. U17, 15における機材規制について
- ・前後輪については、スポークホイール(スポーク16本以上)を使用する。
 - ・ホイールのリム高については、50mm以内とする。
 - ・ハンドルについては、TTバーの使用は許可しない。
- JCF ホームページ (<https://jcf.or.jp/news-83446/?category=track>)



この事業は競輪の補助を受けて実施するものです
<https://jka-cycle.jp>